

# 「AXIESの包括契約プログラムについて」 ーソフトウェアライセンス部会からの新たな提案と解説ー マイクロソフトOffice、ウイルス対策ソフト

ソフトウェアライセンス部会  
藤村 直美  
(九州大学 特任教授・名誉教授)

## MSとのこれまでの経緯

- 2011年2月にAXIESを一般社団法人として設立登記
- 2014年4月からMSとの包括契約を開始（3年間）
- 2017年6月に契約が満了
- 2017年7月から新包括契約を継続
- 2017年10月分から従来のEESベースの契約内容が変更

## 新しい契約の概要

- 契約条件
  - Microsoft 365 Education A3/A5教職員・学生ライセンス（無償）の全学包括契約が基本
  - 2017年9月30日以前にEES Desktop Education契約して入ればOK
- Microsoft Azureが推奨（必須ではない）

## 特典内容

- MS 365 Education A5
  - 約3.5%割引
  - Azureの最小コミットメント追加で約5.5%
  - Azureの標準コミットメント追加で約9.0%
- MS Azureの実質割引
  - 価格表示は定価で、割引価格の単価で計算して実質で最大16%の割引
- セキュリティ関連製品の割引
  - EMS, ATA, ATPを約5%
- 最小加入条件の緩和（1000名未満でも可能）
- 学生オプションの段階的移行
  - Student Use Benefitへの移行

## 重要な変更

- ライセンスのカウント方式がFTEからナレッジワーカ数へ
  - 「ナレッジワーカは、教育機関の利益を図る目的や、ユーザーと教育機関との関係の範囲内で製品または対象デバイスを使用する教職員、契約職員、ボランティアなどが対象」
  - 常勤職員、非常勤職員だけでなく、ボランティア、学生アルバイト (TA, RA) など (派遣社員も!) も員数1とされ、割引なし→交渉中
- EESでは卒業しても利用可能だったが、Student Use Benefitでは卒業後はOfficeを使えない
  - 激変緩和で学年進行が望ましい

## 新しい契約の問題点

- FTEからナレッジワーカに変わった
  - ナレッジワーカの定義が大学に合わない
  - 簡単、確実に把握できる人数 (i.e. 統合認証のID数)
- Officeの利用権利
  - 卒業と同時に利用資格を喪失
  - これまでのように卒業後Officeを使えない
  - 既存の学生に変更を強要するのは困難
- 学年進行に合わせて切り替えたいが、AXIESとの包括契約が「2019/11/30までの更新分まで」で、2018年度からだと2年間のみ
  - その次のAXIESとの契約で配慮が必要
  - 学部の4年、医歯薬の6年をカバーしたい

## これまでのウイルス対策ソフトの経緯

- 2016年4月にAXIESとSymantecとの包括契約
  - 何処も契約していない
- Symantec社から、2017年6月2日付で、Symantec Endpoint Protectionの包括契約について連絡
  - 日本でのアカデミックサブスクリプションプログラム提供を打ち切り
  - 合わせて学生オプションもなくなる
  - 現在の契約の期限までは現契約が有効
  - 現契約の更新や延長はなし
- 代替案としてSymantec SymEd Solutionを提案、価格が数倍で、学生オプションがないため高価になる！

## 新しいウイルス対策用ソフト包括契約

- 要件
  - PC台数でなくFTE（Full Time Equivalent：常勤換算）契約が可能なこと
  - 学生個人のPCにもインストールできること
  - 価格が安価であること
- トレンドマイクロが提供
  - Trend Micro Campus Agreement for Endpoint
  - AXIES会員向け特別対応として2,000ユーザ以上の大学対象
  - Windows/Mac/Androidに対応

## 九大における これまでのウイルス対策の体制

- Symantec Endpoint Protection (SEP) を2011年6月からアカデミックサブスクリプション+学生オプションで契約して提供
  - 対象は大学の予算で購入した全てのPC
  - 教職員+学生の個人PCで一人につき1台
- アカデミックサブスクリプション+学生オプションの廃止を2017年6月2日に正式に受領
- Symantecの代替案はSymEd Solution で、価格が約10倍
- 2017年3月31日までに契約を更新し、2018年5月31日までSEPを利用可能

## 九大における 今後のウイルス対策の体制

- トレンドマイクロの「ウイルスバスターコーポレートエディション」を提供
- 対象PC
  - 大学の予算で購入した全てのPC
  - 教職員+学生が大学に持ち込む可能性があるものを一人3台まで
    - Windows PC
    - Mac
    - モバイル端末（検討中）

## 九大における 今後の予定

- 2017年11月1日から契約上はトレンドマイクロの「ウイルスバスターコーポレートエディション」を利用可能
- 管理サーバの準備が12月下旬になる見込み
- 3月末までに切替を完了してもらうために部局説明会を実施中
  - 2017年度で卒業する学生はSEPのままで良い
  - 研究室での指導（卒研、修士、博士）で対応（55%）
  - 2、3年生の授業の時に注意喚起（30%）
  - 2018年度の新入生はPC講習会で導入（15%）